



2020年3月13日

各 位

会社名 不二サッシ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 吉田 勉  
(コード番号 5940、東証第2部)  
問合せ先 管理本部経営管理部長 塩原 和己  
(TEL: 03-6867-0777)

(訂正・数値データ訂正)「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2019年11月6日に開示いたしました「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも提出いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2020年3月13日)付「2020年3月期第3四半期報告書の提出および2020年3月期第3四半期決算短信の公表ならびに過年度の有価証券報告書等、決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月6日

上場会社名 不二サッシ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5940 URL <http://www.fuijisash.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営管理部長 (氏名) 塩原 和己 TEL 03-6867-0777  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月7日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

#### （1）連結経営成績（累計）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	42,279	4.7	<u>△911</u>	—	<u>△875</u>	—	<u>△1,018</u>	—
2019年3月期第2四半期	40,363	0.2	△1,021	—	△1,066	—	△1,386	—

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 △862百万円（—％） 2019年3月期第2四半期 △1,366百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	<u>△8.07</u>	—
2019年3月期第2四半期	△10.99	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	<u>94,553</u>	<u>18,934</u>	<u>19.9</u>	<u>149.10</u>
2019年3月期	<u>90,832</u>	<u>19,985</u>	<u>21.9</u>	<u>157.40</u>

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 18,806百万円 2019年3月期 19,852百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	1.50	1.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	1.8	1,100	34.0	1,100	16.9	800	29.9	6.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	126,267,824株	2019年3月期	126,267,824株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	138,612株	2019年3月期	137,370株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	126,129,917株	2019年3月期2Q	126,132,097株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.02「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループ(当社及び連結子会社)の業績は、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、マンションの着工戸数に持ち直しの傾向がありますが新設住宅着工戸数全体では減少が続いており、先行き不透明な状況です。形材外販事業においては、物量は確保したものの、アルミ精密加工品の売上減少や諸資材価格上昇の影響により厳しい事業環境となりました。環境事業は、概ね計画通りに進捗しております。

このような状況の下、当社グループは、日本防水工業株式会社及び日本スプレー工業株式会社の株式を取得し、リニューアル事業の拡大及び関連する様々な事業に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高422億7千9百万円(前年同四半期比4.7%増)、営業損失9億1千1百万円(前年同四半期は営業損失10億2千1百万円)、経常損失8億7千5百万円(前年同四半期は経常損失10億6千6百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失10億1千8百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失13億8千6百万円)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

## 〔建材事業〕

建材事業においては、連結子会社の増加に加え、高断熱商品の拡販などにより、売上高は291億9千万円(前年同四半期比8.3%増)、セグメント損失1億6千2百万円(前年同四半期はセグメント損失2億2千2百万円)と増収増益となりました。

## 〔形材外販事業〕

形材外販事業においては、厳しい競争による市場価格の低迷やアルミ精密加工品の売上減少などから、売上高は104億4千7百万円(前年同四半期比4.2%減)、セグメント損失1億6千7百万円(前年同四半期はセグメント損失1億2千8百万円)と減収減益になりました。

## 〔環境事業〕

環境事業においては、市場の変化による事業環境の厳しさが増していますが、営業力及びプロセス管理を強化したことなどにより、売上高は14億7千9百万円(前年同四半期比11.4%増)、セグメント利益3千9百万円(前年同四半期はセグメント損失8百万円)と増収増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は564億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億7千8百万円増加いたしました。これは主に仕掛品が77億6千6百万円増加し、受取手形及び売掛金が35億3千2百万円、電子記録債権が13億2千5百万円減少したことによるものであります。固定資産は380億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億4千3百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2億8千3百万円、無形固定資産が3億8千4百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は945億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億2千1百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は479億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億6千4百万円増加いたしました。これは主に前受金が74億5千8百万円増加し、支払手形及び買掛金が22億9千4百万円、電子記録債務が6億7千4百万円、短期借入金が6億3千8百万円減少したことによるものであります。固定負債は276億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億8百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が14億5千8百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は756億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億7千2百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は189億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億5千1百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が12億7百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は19.9%(前連結会計年度末は21.9%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることなどから、2019年5月15日の「2019年3月期決算短信」で公表しました予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,938	12,770
受取手形及び売掛金	18,108	14,575
電子記録債権	4,624	3,298
商品及び製品	1,281	1,297
仕掛品	<u>11,693</u>	<u>19,460</u>
原材料及び貯蔵品	2,723	2,863
販売用不動産	369	309
その他	<u>1,546</u>	<u>2,541</u>
貸倒引当金	<u>△678</u>	<u>△632</u>
流動資産合計	<u>53,606</u>	<u>56,484</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,178	38,313
減価償却累計額及び減損損失累計額	<u>△30,726</u>	<u>△31,016</u>
建物及び構築物(純額)	<u>7,451</u>	<u>7,296</u>
機械装置及び運搬具	41,496	41,608
減価償却累計額及び減損損失累計額	<u>△36,219</u>	<u>△36,392</u>
機械装置及び運搬具(純額)	<u>5,276</u>	<u>5,216</u>
土地	13,352	13,606
リース資産	2,392	2,401
減価償却累計額	<u>△846</u>	<u>△940</u>
リース資産(純額)	<u>1,545</u>	<u>1,460</u>
建設仮勘定	<u>399</u>	<u>737</u>
その他	<u>11,758</u>	<u>11,811</u>
減価償却累計額及び減損損失累計額	<u>△10,822</u>	<u>△10,883</u>
その他(純額)	<u>935</u>	<u>928</u>
有形固定資産合計	<u>28,962</u>	<u>29,246</u>
無形固定資産		
のれん	—	420
その他	<u>330</u>	<u>293</u>
無形固定資産合計	<u>330</u>	<u>714</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	2,358	2,495
長期貸付金	329	337
繰延税金資産	<u>4,010</u>	<u>3,916</u>
その他	<u>2,142</u>	<u>2,237</u>
貸倒引当金	<u>△908</u>	<u>△879</u>
投資その他の資産合計	<u>7,933</u>	<u>8,107</u>
固定資産合計	<u>37,225</u>	<u>38,068</u>
資産合計	<u>90,832</u>	<u>94,553</u>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,648	14,354
電子記録債務	5,322	4,648
短期借入金	12,499	11,860
1年内償還予定の社債	600	420
リース債務	245	239
未払法人税等	209	244
前受金	5,619	13,077
工事損失引当金	339	469
その他	3,233	2,668
流動負債合計	<u>44,718</u>	<u>47,982</u>
固定負債		
社債	2,900	2,830
長期借入金	5,613	7,071
リース債務	1,452	1,369
繰延税金負債	29	32
再評価に係る繰延税金負債	413	413
退職給付に係る負債	15,081	15,293
資産除去債務	297	294
その他	339	332
固定負債合計	<u>26,128</u>	<u>27,636</u>
負債合計	<u>70,846</u>	<u>75,619</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,709	1,709
資本剰余金	816	816
利益剰余金	16,680	15,472
自己株式	△15	△15
株主資本合計	<u>19,190</u>	<u>17,983</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	624	677
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	1,505	1,505
為替換算調整勘定	△425	△395
退職給付に係る調整累計額	△1,043	△964
その他の包括利益累計額合計	<u>661</u>	<u>822</u>
非支配株主持分	133	127
純資産合計	<u>19,985</u>	<u>18,934</u>
負債純資産合計	<u>90,832</u>	<u>94,553</u>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	40,363	42,279
売上原価	34,821	<u>36,198</u>
売上総利益	5,541	<u>6,080</u>
販売費及び一般管理費	6,563	6,992
営業損失(△)	<u>△1,021</u>	<u>△911</u>
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	63	73
受取保険金	0	5
受取賃貸料	18	25
持分法による投資利益	44	20
電力販売収益	91	80
保険解約返戻金	0	80
その他	46	39
営業外収益合計	272	332
営業外費用		
支払利息	126	126
手形売却損	5	4
電力販売費用	69	69
為替差損	0	49
その他	115	45
営業外費用合計	317	296
経常損失(△)	<u>△1,066</u>	<u>△875</u>
特別利益		
固定資産売却益	0	0
負ののれん発生益	14	—
その他	0	—
特別利益合計	15	0
特別損失		
固定資産売却損	6	2
固定資産除却損	0	0
訴訟関連損失	270	—
その他	7	—
特別損失合計	284	2
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△1,335</u>	<u>△878</u>
法人税等	47	<u>139</u>
四半期純損失(△)	<u>△1,382</u>	<u>△1,018</u>
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	<u>△1,386</u>	<u>△1,018</u>

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,382	<u>△1,018</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90	53
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	5	25
退職給付に係る調整額	100	79
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	15	155
四半期包括利益	<u>△1,366</u>	<u>△862</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,369	<u>△857</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△5

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,335	△878
減価償却費	1,116	1,082
持分法による投資損益(△は益)	△44	△20
受取利息及び受取配当金	△71	△80
支払利息	126	126
固定資産売却損益(△は益)	5	2
負ののれん発生益	△14	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	80	△48
工事損失引当金の増減額(△は減少)	5	130
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	270	303
売上債権の増減額(△は増加)	2,480	5,202
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,853	△7,724
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,153	△3,290
前受金の増減額(△は減少)	4,792	7,428
その他の資産の増減額(△は増加)	305	△792
その他の負債の増減額(△は減少)	△457	△378
その他	77	12
小計	1,331	1,072
利息及び配当金の受取額	72	82
利息の支払額	△114	△130
法人税等の支払額	△137	△47
その他	—	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,150	983
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12	△31
定期預金の払戻による収入	59	231
有形固定資産の取得による支出	△974	△1,301
有形固定資産の売却による収入	80	3
無形固定資産の取得による支出	△27	△11
投資有価証券の取得による支出	△141	△49
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△16	△17
資産除去債務の履行による支出	△70	△3
その他	△109	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,212	△1,176
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,564	△1,890
長期借入れによる収入	2,733	3,308
長期借入金の返済による支出	△1,392	△1,737
社債の償還による支出	△300	△310
その他	△340	△315
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,863	△944
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,919	△1,140
現金及び現金同等物の期首残高	14,087	13,111
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,167	11,970

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	26,951	10,903	1,328	39,183	1,179	40,363
セグメント間の内部売上高又は 振替高	12	3,540	—	3,553	1,185	4,738
計	26,963	14,444	1,328	42,736	2,365	45,101
セグメント利益又は損失(△)	△222	△128	△8	△359	137	△222

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△359
「その他」の区分の利益	137
セグメント間取引消去	70
全社費用(注)	△869
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,021

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	29,190	10,447	1,479	41,116	1,162	42,279
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	3,532	—	3,541	1,367	4,908
計	29,199	13,979	1,479	44,657	2,530	47,187
セグメント利益又は損失(△)	<u>△162</u>	<u>△167</u>	39	<u>△290</u>	174	<u>△115</u>

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>△290</u>
「その他」の区分の利益	174
セグメント間取引消去	76
全社費用(注)	<u>△872</u>
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	<u>△911</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

建材事業セグメントにおいて、2019年5月8日に日本防水工業株式会社及び日本スプレー工業株式会社が新たに連結子会社となっております。

これに伴うのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては420百万円であります。